

事務連絡
平成23年4月8日

(北海道・東北地方・関東地方・愛知県・大阪府)
各都道府県専修学校主管課
各都道府県教育委員会専修学校主管課

御中

文部科学省生涯学習政策局
生涯学習推進課専修学校教育振興室

東日本大震災による被害状況及び今後の課題等について（依頼）

このたびの東日本大震災の発生以降、各都道府県及び各専修学校におかれては、専修学校に係る人的被害・物的被害の情報収集及び報告を行っていただいているところですが、文部科学省において今後の対応について検討を行うため、今般、都道府県専修学校主管課及び専修学校を対象に、別添の調査票(エクセル形式)により、情報収集のための調査を実施することとしました。

ついては、各専修学校においては学校及び生徒等の状況に関して、各都道府県においては被災した専修学校等に対する経済的支援等に関して、報告をいただきたく存じます。

貴都道府県におかれては、各専修学校が作成した別添1の調査票を別添3の総括票にとりまとめるとともに、別添2の調査票と併せてご提出くださいますよう、よろしくお願いいたします。

また、現在、被災状況について逐次報告をお願いしているところですが、引き続きご対応をよろしくお願いいたします。

【回答期限】 平成23年4月19日（火）中

【添付資料】

別紙1：学校用調査票のご記入・ご提出に当たって〈学校ご担当者様用〉

別紙2：都道府県用調査票及び総括票のご記入・ご提出に当たって〈都道府県ご担当者様用〉

別添1：学校用調査票

別添2：都道府県用調査票

別添3：都道府県用総括票

【本件担当】

文部科学省生涯学習政策局
生涯学習推進課専修学校教育振興室
専修学校第一係

TEL 03-5253-4111(内線：2939)

FAX 03-6734-3715

E-Mail syosensy@mext.go.jp

学校用調査票のご記入・ご提出に当たって
＜学校ご担当者様用＞

本調査は、このたびの東日本大震災に伴う、今後の対応に係る検討に資することを目的に実施いたします。調査データは統計的に処理することとし、個々の学校名については、これが特定されるような情報を積極的に公表することはありません。

次の点に留意し、期限内(各都道府県において設定された提出期限内)にご回答いただきますようお願いいたします。

1. 学校用調査票（別添 1）の記入

- 回答に当たっては、なるべく電子データ（Excel 形式）を利用して、学校用調査票（別添 1）に回答データを入力してください。ただし、パソコンソフトが使用できない等の理由がある場合は、直接、用紙に記入いただく形とすることも可能です。
直接、用紙に記入いただいた場合は、FAX 又は郵送により提出してください。
※ 学校用調査票のデータは複数のシートに分かれていますので、全てのシートについて回答をお願いします。
- 学校用調査票のうちⅠ.～Ⅲ.については、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県内の学校のみ回答してください（その他の都道府県内の学校にあつては回答不要です。）

2. 学校用調査票（別添 1）の提出

- 記入した学校用調査票（別添 1）を都道府県担当部署宛に提出してください。
- 調査票回答時において調査項目に係る状況を把握していない場合であっても、調査票提出後に状況を把握したときは、再度、当該状況を学校用調査票をもって都道府県担当部署に報告してください。

＜問い合わせ先＞

文部科学省生涯学習推進課専修学校教育振興室
専修学校第一係 山本、吉田
電話：03-5253-4111（内線 2939）、03-6734-2939（直通）
FAX：03-6734-3715
Mail：syosensy@mext.go.jp

東日本大震災による被害状況及び今後の課題等について【学校用調査票1】

学 校 名		設置者名			
担 当 者 名		1 設置主体が分かるように、名称の後に()で種別を記入(準学校法人、社団法人、個人など)			
直 通 電 話		F A X		e-mail	

I. 施設の状況

(1)学内施設に、今後の使用可否についての調査(例えば、応急危険度判定)を要するものがある場合について、次の①～④のうちから選んで○を記入し、①・②については状況を教えてください。

①実施済み	
【その結果】	

②今後実施予定	
【予定時期】	

③未定	
-----	--

④特に施設に問題はない	
-------------	--

(2)ライフライン(電気、ガス、水、通信インフラ等)の状況について、次のうちから選んで状況を教えてください。

(○:問題なし、△:一部で使用不可、×:使用不可、-:把握できていない)

	状況	△、×の場合には復旧の目処	
電 気			※「状況」欄はプルダウンから選択
ガ ス			※「状況」欄はプルダウンから選択
上 水 道			※「状況」欄はプルダウンから選択
下 水 道			※「状況」欄はプルダウンから選択
通 信 イ ン フ ラ			※「状況」欄はプルダウンから選択

東日本大震災による被害状況及び今後の課題等について【学校用調査票2】

Ⅱ. 生徒(留学生を含む。)や教職員の方々の状況について、現時点で分かる範囲で教えてください。

※詳細な人数の把握が難しい場合は、概数(例えば「約〇〇人」)や、大まかな傾向(例えば、「留学生の〇割が国外退避している模様」)を記入してください。

(1)生徒や教職員の方々の把握の方法について、次のうちから選択してください。

調査方法		※プルダウンから選択
------	--	------------

(2)生徒の安否の確認状況

死亡		
負傷	重傷(※1)	
	軽傷	
安否不明(※2)		
そのほか確認がとれないもの		

※1「重傷」は、後遺症が残ると思われるもの、全治1ヶ月以上、入院加療が必要と思われるものなど。

※2「安否不明」は、発災時に被災が甚大であった場所(岩手県、宮城県、福島県、茨城県)にいた可能性が高く、連絡不通の者。

(3)教職員の安否の確認状況

死亡		
負傷	重傷(※1)	
	軽傷	
安否不明(※2)		
そのほか確認がとれないもの		
外国人教職員の数		
うち国外への退避している者		

※1「重傷」は、後遺症が残ると思われるもの、全治1ヶ月以上、入院加療が必要と思われるものなど。

※2「安否不明」は、発災時に被災が甚大であった場所(岩手県、宮城県、福島県、茨城県)にいた可能性が高く、連絡不通の者。

(4)留学生の状況((2)の生徒数の内数)

死亡	
内 私費留学生(※3)	
訊 国費留学生	
負傷 重傷(※1)	
内 私費留学生(※3)	
訊 国費留学生	
負傷 軽傷	
内 私費留学生(※3)	
訊 国費留学生	
安否不明(※2)	
内 私費留学生(※3)	
訊 国費留学生	
そのほか連絡のとれないもの	
内 私費留学生(※3)	
訊 国費留学生	
帰国中	
内 私費留学生(※3)	
訊 国費留学生	
国外への退避(上記との重複可)	
内 私費留学生(※3)	
訊 国費留学生	

※1「重傷」は、後遺症が残ると思われるもの、全治1ヶ月以上、入院加療が必要と思われるものなど。

※2「安否不明」は、発災時に被災が甚大であった場所(岩手県、宮城県、福島県、茨城県)にいた可能性が高く、連絡不通の者。

※3「私費留学生」には、相手国政府派遣の人数を含みます。

(5)帰国(国外に退避)したまま再入国ができない留学生・外国人教職員に係る課題など、上記以外の留学生・外国人教職員の状況について現時点で把握されているものがあれば教えてください。

上記以外の留学生・外国人教職員の状況

東日本大震災による被害状況及び今後の課題等について【学校用調査票3】

Ⅲ. 新年度の教学面の取扱について教えてください。

(1)新年度の授業の開始時期について、回答時点での予定を次のうちから選んでください。

授業の開始時期 ※プルダウンから選択

(2)上記(1)の「授業の開始時期」で②～④と回答した場合に、その理由を教えてください。

※該当する欄に「○」を記入してください。(複数回答可)

①震災による施設設備の損壊やライフラインの切断等のため	<input type="checkbox"/>
②電力会社による計画停電、又は節電等の対応のため	<input type="checkbox"/>
③被災した生徒への配慮のため	<input type="checkbox"/>
④新入生・在校生の居住環境の確保がまだ難しいため	<input type="checkbox"/>
⑤その他(理由を具体的に記述願います。)	<input type="checkbox"/>
<input type="text"/>	

東日本大震災による被害状況及び今後の課題等について【学校用調査票4】

IV. 生徒(留学生を含む。)の生活環境の状況についてわかる範囲で状況を教えてください。

(1)生徒が被災により住環境の確保が困難となっている場合、その状況について教えてください。

(把握している場合で分かる範囲で結構です。)

(2)今回の震災を機に急変があった生徒の主たる家計支持者の状況について、分かる範囲でご記入ください。

(現時点で貴校で把握されている範囲で結構です。)

		①	②	③	④	⑤	⑥
		主たる家計支持者の現住所が当該地域にある生徒数	主たる家計支持者の自宅が全半壊した生徒数	主たる家計支持者が死亡した生徒数	左記②と③が重複する生徒数	主たる家計支持者が震災により失業した生徒数	①～⑤以外のその他の理由で家計が急変した生徒数
主たる家計支持者の現住所が岩手、宮城、福島にある生徒の人数	高等課程						
	専門課程						
	一般課程						
主たる家計支持者の現住所が青森、茨城、栃木、千葉にある生徒の人数	高等課程						
	専門課程						
	一般課程						

※⑥は、家計急変があったこと自体は把握しているが、個別に理由を把握していない場合を含む。

※回答時において状況を把握していない場合であっても、後日状況を把握したときは、再度、当該状況を都道府県担当部署に報告してください。

(3) 今回の震災発生に伴い、生徒の経済的支援について、学校として既に対応していること又は検討している事項があれば教えてください。

※該当する欄に、既に対応している場合は○、検討中の場合は▲を記入してください。(複数回答可)

①授業料減免措置	
②入学金免除措置	
③納付時期の猶予等の弾力的な取扱い	
④学校独自の奨学金	
⑤日本学生支援機構の奨学金の周知	
⑥その他 ※検討しているものがあれば記入してください。	
⑦経済的支援を行うに当たっての課題があれば、記入してください。	
⑧通常時において都道府県が行う補助事業を活用した授業料等減免措置を行っていません。○を記入してください。	

(4) 震災の影響による生徒の内定取消しの状況及び学校による内定取り消しへの対応について教えてください。(取り消された人数が分かる場合はご記入ください。)

震災の影響による生徒の内定取消しの状況及び学校による内定取り消しへの対応

内定を取り消された生徒の人数(現時点で分かる範囲で結構です。)	
うち、後日、別の企業等から内定を得た生徒の人数	

※分からない場合は空欄で結構です。

東日本大震災による被害状況及び今後の課題等について【都道府県用総括票1】

都道府県名				
担当部局課名		担当者名		
直通電話		F A X		e-mail

I. 施設の状況

(1)学内施設に今後の使用可否についての調査(例えば、応急危険度判定)を要するものがある場合の状況について

貴都道府県全体の学校数(※)	回答のあった学校数

※平成23年5月1日時点の学校基本調査で回答予定の学校数

①実施済みの学校数	○の回答のあった学校数
その結果	「危険」判定のあった学校数
	「要注意」判定のあった学校数
②今後実施予定の学校数	○の回答のあった学校数
③未定の学校数	○の回答のあった学校数
④特に施設に問題はない	○の回答のあった学校数

(2)ライフライン(電気、ガス、水、通信インフラ等)の状況について

(○:問題なし、△:一部で使用不可、×:使用不可、-:把握できていない)

貴都道府県全体の学校数	回答のあった学校数

	○	△	×	-
電 気				
ガ ス				
上 水 道				
下 水 道				
通 信 イン フ ラ				
計				

←それぞれ回答のあった学校数を記入

東日本大震災による被害状況及び今後の課題等について【都道府県用総括票2】

Ⅱ. 生徒(留学生を含む。)や教職員の方々の状況について

※詳細な人数の把握が難しい場合は、概数(例えば「約〇〇人」)や、大まかな傾向(例えば、「留学生の〇割が国外退避している模様」)を記入

(1)生徒や教職員の方々の把握の方法について

貴都道府県全体の学校数(※)	回答のあった学校数

※平成23年5月1日時点の学校基本調査で回答予定の学校数

調査方法	学校数
悉皆で調査	
個別に届出	

(2)生徒の安否の確認状況

貴都道府県全体の学校数	回答のあった学校数

状 況	人 数
死亡	
負 傷	
重傷(※1)	
軽傷	
安否不明(※2)	
そのほか確認がとれないもの	

←回答のあった全学校における人数の合計を記入

※1「重傷」は、後遺症が残ると思われるもの、全治1ヶ月以上、入院加療が必要と思われるものなど。

※2「安否不明」は、発災時に被災が甚大であった場所(岩手県、宮城県、福島県、茨城県)にいた可能性が高く、連絡不通の者。

(3)教職員の安否の確認状況

貴都道府県全体の学校数	回答のあった学校数

状 況	人 数
死亡	
負 傷	
重傷(※1)	
軽傷	
安否不明(※2)	
そのほか確認がとれないもの	
外国人教職員の数	
うち国外への退避している者	

←回答のあった全学校における人数の合計を記入

※1「重傷」は、後遺症が残ると思われるもの、全治1ヶ月以上、入院加療が必要と思われるものなど。

※2「安否不明」は、発災時に被災が甚大であった場所(岩手県、宮城県、福島県、茨城県)にいた可能性が高く、連絡不通の者。

(4)留学生の状況((2)の生徒数の内数)

貴都道府県全体の学校数	回答のあった学校数

状 況	人 数
死亡	
内 私費留学生(※3)	
訊 国費留学生	
負傷 重傷(※1)	
内 私費留学生(※3)	
訊 国費留学生	
負傷 軽傷	
内 私費留学生(※3)	
訊 国費留学生	
安否不明(※2)	
内 私費留学生(※3)	
訊 国費留学生	
そのほか連絡のとれないもの	
内 私費留学生(※3)	
訊 国費留学生	
帰国中	
内 私費留学生(※3)	
訊 国費留学生	
国外への退避(上記との重複可)	
内 私費留学生(※3)	
訊 国費留学生	

←回答のあった全学校における人数の合計を記入

※1「重傷」は、後遺症が残ると思われるもの、全治1ヶ月以上、入院加療が必要と思われるものなど。

※2「安否不明」は、発災時に被災が甚大であった場所(岩手県、宮城県、福島県、茨城県)にいた可能性が高く、連絡不通の者。

※3「私費留学生」には、相手国政府派遣の人数を含みます。

(5)帰国(国外に退避)したまま再入国ができない留学生・外国人教職員に係る課題など、上記以外の留学生・外国人教職員の状況について

上記以外の留学生・外国人教職員の状況 (回答のあった理由について3つ代表的なものを簡潔に記述願います。)

東日本大震災による被害状況及び今後の課題等について【都道府県用総括票3】

Ⅲ. 新年度の教学面の取扱について

(1) 新年度の授業の開始時期について

貴都道府県全体の学校数(※)	回答のあった学校数

※平成23年5月1日時点の学校基本調査で回答予定の学校数

授業の開始時期	学校数
① 予定通り4月初めより開始	
② 4月中の授業開始を予定	
③ 5月からの授業開始を予定	
④ ③以降の授業開始を予定	
⑤ 検討中	

(2) 上記(1)の「授業の開始時期」で②～④と回答した場合の理由

貴都道府県全体の学校数	回答のあった学校数

理 由	学校数
① 震災による施設設備の損壊やライフラインの切断等のため	
② 電力会社による計画停電、又は節電等の対応のため	
③ 被災した生徒への配慮のため	
④ 新入生・在校生の居住環境の確保がまだ難しいため	
⑤ その他の理由の例(回答のあった理由について3つ代表的なものを簡潔に記述願います。)	

東日本大震災による被害状況及び今後の課題等について【都道府県用総括票4】

IV. 生徒(留学生を含む。)の生活環境の状況について

(1)生徒が被災により住環境の確保が困難となっている場合、その状況について

貴都道府県全体の学校数(※)	回答のあった学校数

※平成23年5月1日時点の学校基本調査で回答予定の学校数

(回答のあった理由について3つ代表的なものを簡潔に記述願います。)

(2)今回の震災後における生徒の主たる家計支持者の状況について

貴都道府県全体の学校数	回答のあった学校数

↓回答のあった全学校における人数の合計を記入

		①	②	③	④	⑤	⑥
		主たる家計支持者の現住所が当該地域にある生徒数	主たる家計支持者の自宅が全半壊した生徒数	主たる家計支持者が死亡した生徒数	左記②と③が重複する生徒数	主たる家計支持者が震災により失業した生徒数	①～⑤以外のその他の理由で家計が急変した生徒数
主たる家計支持者の現住所が岩手、宮城、福島にある生徒の人数	高等課程						
	専門課程						
	一般課程						
主たる家計支持者の現住所が青森、茨城、栃木、千葉にある生徒の人数	高等課程						
	専門課程						
	一般課程						

※⑥は、家計急変があったこと自体は把握しているが、個別に理由を把握していない場合。

(3) 今回の震災発生に伴い、生徒の経済的支援について、学校として既に対応していること又は検討している事項

貴都道府県全体の学校数	回答のあった学校数

※該当する欄に、既に対応している場合は○、検討中の場合は▲を記入(複数回答可)

事 項	学校数	
	○	▲
①授業料減免措置		
②入学金免除措置		
③納付時期の猶予等の弾力的な取扱い		
④学校独自の奨学金		
⑤日本学生支援機構の奨学金の周知		
⑥その他検討しているもの(回答について3つ代表的なものを簡潔に記述願います。)		
⑦経済的支援を行うに当たっての課題(回答について3つ代表的なものを簡潔に記述願います。)		
⑧通常時において都道府県が行う補助事業を活用した授業料等減免措置を行っている学校数		

(4)震災の影響による生徒の内定取消しの状況について

貴都道府県全体の学校数	回答のあった学校数

震災の影響による内定取消しの状況について(回答について3つ代表的なものを簡潔に記述願います。)

内定を取り消された生徒の人数(現時点で分かる範囲)	
うち、後日、別の企業等から内定を得た生徒の人数	